

アラビア語チュニス方言における2人称単数の心性的与格用法

熊切拓 (東京福祉大学)

アラビア語チュニス方言 (チュニジア) の2人称単数の与格人称接尾辞 **-lik** には変わった用法がある。

- (1) **w-sʿa:rʰ-lik** **si:-mħammad ra:jjɪq mitʃaxlaʃ**
そして-彼がなつた-あなたに 氏-ムハンマド 幸せな なに不自由ない
「ムハンマド氏は幸せで、なに不自由ない暮らしぶりとなった」

上の例において太字にした **-lik** は、特定の聞き手を指すものではなく、したがって、訳には表すことができない。

こうした2人称単数の与格人称辞 **-lik** は、先行研究 (William and Guíga 1958-1961: 3349) においては、英語の Ethical Dative (心性的与格) にちなみ、「心性的な意味 (la valeur éthique)」を持つとされている。本発表はこの心性的な与格が特定の動詞に付加される場合を取り上げ、これが用いられた文脈を検討し、その意味を「意外な事実の提示」と分析する。

この心性的与格用法において現れる動詞は、**qa:l**《言う》、**walla:**《〜になる》、**bda:**《〜し始める》、**sʿa:r**《〜になる》の4種である。**qa:l**は伝聞、それ以外は、事態の発生様態を表し、いずれもモダリティに関わる動詞の完了形である。

- (2) **la:** **jalqa:-ha:** **la:** **hi:ja** **la:** **wla:d-ha:** **w-l-mra:**
否定 彼が見つける-彼女を 否定 彼女 否定 子どもたち-彼女の そして-定冠詞-女
qa:l-lik **zinni:ja ka:nit** **mitmallka** **bi:-h**
なんと〜だという 女ジン ~ていた とりつく能動分詞 ~に-彼
「(妻子が姿を消し) 彼は彼女もその子どもたちも見つけれられない。そして、その女はなんと彼に
取り付いた女ジン (精霊) だという (文字通りには「あなたに〜と言われている」)」

- (3) **ma:-ka:nit-f** **mi-l-ʃa:ksi:n** **walla:-lik**
NEG-彼女が〜だった-NEG ~から-定冠詞-反对者たち いきなり〜になった
il-qabqa:b **jtʿarfiq** **min-ði:l** **id-da:rʰ** **l-ði:l** **id-da:rʰ**
定冠詞-サンダル それは鳴る ~から-尾 定冠詞-家 ~に-尾 定 冠 詞 - 家
「(たくさんの富を持ち帰った夫の「料理を作ってほしい」という頼みに) 彼女は反对者の一人ではなかった。(張り切って料理をはじめたため) たちまち、サンダルが家の端から端まで鳴り響くようになった (文字通りには「あなたに〜となった」)」

こうした心性的与格用法における「意外な事実の提示」という表現性は、2人称単数与格接辞が擬似的に「事実を知らない聞き手」を示すことにより、話し手とこの擬似的な聞き手との間に、やはり擬似的な情報の格差が生み出されることで成立しているのではないかと考えられる。